

I 第9週の発生動向 (2009/2/23~2009/3/1)

- インフルエンザについては、上十三保健所管内において、前週に引き続き**警報**が続いています。八戸、五所川原保健所管内においては**注意報**が続いています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、弘前保健所において、**警報**が続いています。

II 第9週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)				青森市(再掲)				定点数							
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		
(85) インフルエンザ	135	9.64	109	7.27	182	13.00	126	18.00	165	18.33	53	8.83	770	11.85	-24	10	5.00	125	10.42												
(74) RSウイルス感染症															-1																
(75) 咽頭結膜熱	1	0.11									1	0.17	5	1.25	7	0.17	1							1	0.13						
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	2.11	26	2.89	9	1.00	3	0.60	19	3.17	2	0.50	78	1.86	8									19	2.38						
(77) 感染性胃腸炎	79	8.78	38	4.22	31	3.44	17	3.40	34	5.67	55	13.75	254	6.05	22	5	5.00	74	9.25					5	5.00	74	9.25				
(78) 水痘	25	2.78	5	0.56	6	0.67	4	0.80	6	1.00	1	0.25	47	1.12	-34	5	5.00	20	2.50					5	5.00	20	2.50				
(79) 手足口病	29	3.22	3	0.33			1	0.20					33	0.79	10									29	3.63						
(80) 伝染性紅斑	2	0.22	1	0.11									3	0.07	0									2	0.25						
(81) 突発性発疹	11	1.22	3	0.33	1	0.11	1	0.20	3	0.50	1	0.25	20	0.48	-5	2	2.00	9	1.13					2	2.00	9	1.13				
(82) 百日咳															0																
(83) ヘルパンギーナ			1	0.11									1	0.02	0																
(84) 流行性耳下腺炎	7	0.78					4	0.80					11	0.26	-2			7	0.88												
(86) 急性出血性結膜炎															0																
(87) 流行性角結膜炎	1	0.50			4	2.00	1	1.00	1	0.50			7	0.64	3			1	0.50												
(95) マイコプラズマ肺炎					3	3.00							3	0.50	1																

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」：患者発生数0

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出数は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前2人、青森市2人

(21年計：57人)

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

IV 病原体検出情報

- インフルエンザAH1型ウイルスが東青地域で2株、インフルエンザAH3型が東青地域で2株、弘前地域で1株分離されました。
- 青森地域のウイルス性発疹症患者1名(12/18便検体採取)から、コクサッキーウイルスA16型が検出されました。
- 弘前地域の小脳炎患者1名(1/14直腸ぬぐい液検体採取)、下北地域の熱性けいれん患者1名(2/5咽頭ぬぐい液検体採取)からエンテロウイルス71型が検出されました。

感染症の窓

流行性角結膜炎 (眼科定点把握疾患)



図 全国及び青森県における年次推移 (1999-2009年)

本疾患の病原体は、主にアデノウイルスで、接触により感染し、8~14日の潜伏期間の後、症状が現れます。症状は、まぶたの腫れとともに流涙、結膜の充血、耳近くのリンパ節の腫れなどが見られ、数日後には角膜点状上皮混濁を起こすことがあります。感染症発生動向調査では、2002年以降、少ない届出数で推移しています(上図)。流行時期は、夏季とされていますが、季節に関係無くウイルスに汚染されたティッシュペーパーなどに触れて感染する場合があります。感染力が強いことから、**手洗いの励行、目の分泌物には直接手で触れない、タオルや点眼液の共用をしない**ことが感染予防上重要です。

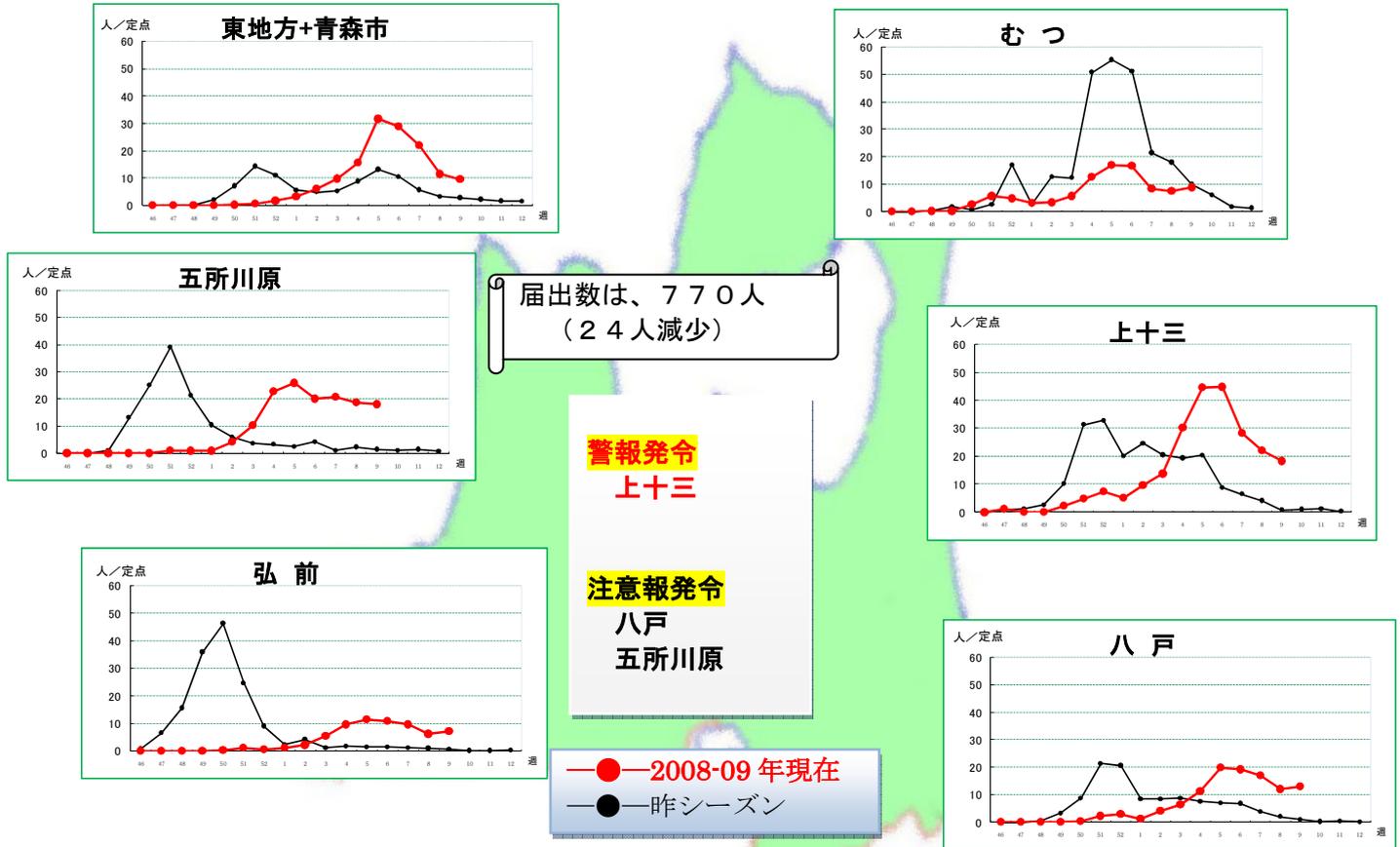
V インフルエンザ情報 第9週 (2/23~3/1)

迅速診断キットによる型別は、以下の通りです。()内は、前週届出数です。

	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
インフルエンザ報告数	10	109	182	126	165	53	125
A型	10	76	121	44	120	46	29
B型	0	33(20)	37(16)	82	42(36)	7	0

A型が流行していますが、五所川原保健所管内ではB型の報告数の方が多く、弘前、八戸、上十三保健所管内においては、B型が増加していることから今後の動向に注意が必要です。

VI 保健所管内別届出数推移 *Adobe Readerは、最新のバージョンをお願いいたします。



注：警報開始基準値は30人/定点、終息基準値は10人/定点、注意報レベルは10人/定点です。

VII 全国及び青森県における届出数推移 (2007-2008シーズン - 2008-2009シーズン)



関連情報 今年度の標語 《あ、その咳、そのくしゃみ～咳エチケットしてますか?～》

厚生労働省：今冬のインフルエンザ総合対策について <http://www.mhlw.go.jp/bunva/kenkou/kekkaku-kansenshou01/index.html>

保健衛生課：インフルエンザの予防について http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/08-09seasonal_flu.html

インフルエンザワクチン予防接種実施医療機関情報 http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/flu_shot.html